

## (8) 具 同 小 学 校

学 校 長 中平 泰史  
校内研究代表者 松浦 愛

### 1. 研究主題

「夢・志を育む教育活動の実践・研究 ～一人一人が大切にされる学級経営を土台として～」

### 2. 主題設定の理由

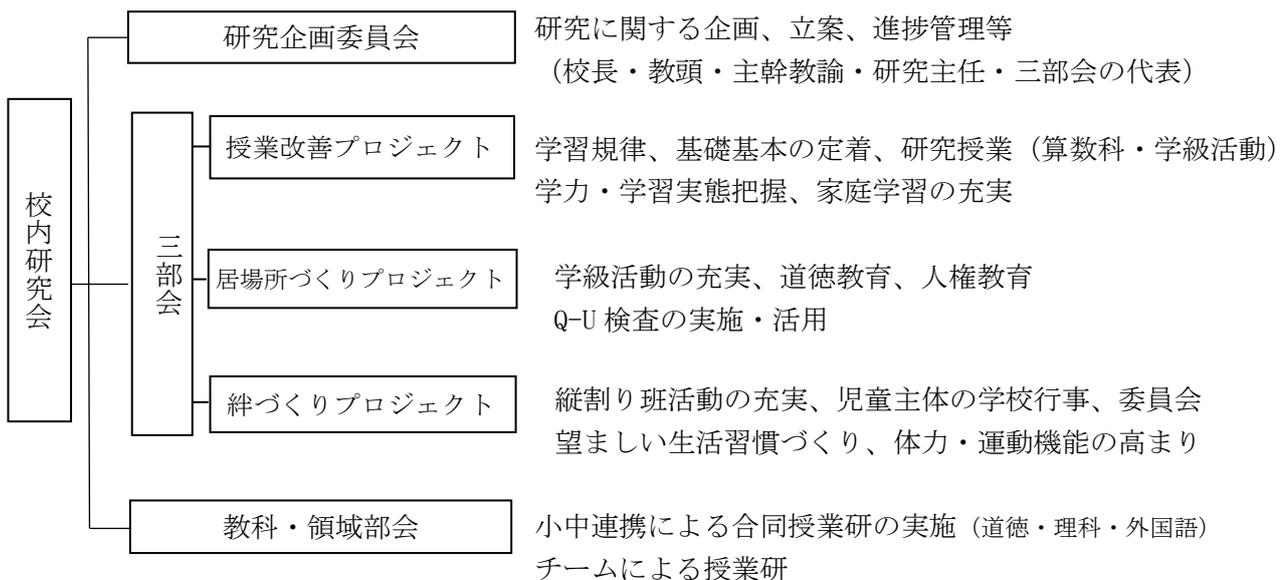
本校は西部管内の小学校で最も児童数・教職員数が多い学校である。児童の実態からすると、養育不足等の家庭的な背景を抱える児童や発達障害等の特性から特別な支援を必要とする児童が多く在籍しており、生徒指導や特別支援教育等に力点を置く必要がある学校である。

本校は昨年度まで学校生活における諸問題（いじめ・不登校等）を未然に防ぐことをねらいとした学校活性化・安定化実践研究事業を受託し、取り組んできた。これまでの研究実践をベースに、教職員が学級経営や授業づくり等について話し合いながら、組織として統一感を持って生徒指導の三機能を生かした授業づくりや特別活動の実践等を行ってきた。授業や活動の中に個人思考の場を取り入れたことで、自分の考えをもち、発表しようとする児童の姿が増えたが、依然として自分の思いや考えを伝える児童に偏りが見られることや、学級経営、授業づくりにおける学級間のばらつきがあるという課題が残った。

今年度も児童の主体性を育てることに重点をおきながら、資質・能力の育成に向けて児童の問いを大切に授業づくり、児童が自己存在感を実感しながらよりよい人間関係を形成し、自己指導能力を高めていくことができる教育活動に取り組むと共に「5あ（挨拶・安全・後始末・集まり・遊び）」についても教職員間で共通理解を図りながら「協働と徹底～子どもに主体性を 実践に統一感を～」を合言葉に、教職員間で共通理解を図りながら学校全体で取り組みを進めていく。

### 3. 研究の進め方と方法

#### (1) 研究体制



#### (2) 夢・志を育む学級経営のための実践研究事業

取組の2本柱 ①資質・能力ベースの授業づくり ②児童主体の学級・学校づくり

